

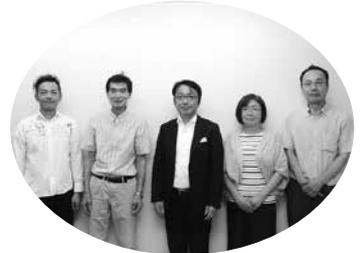
商店街さんぽ

第4回



荒町商店街振興組合

400年の歴史を受け継ぎ、
100年後の未来を見据えて
活気あふれる街の絆を
大切にしていきます。



荒町商店街の役員の方皆さん。
左から庄子康一副理事長、
佐藤光政理事、佐藤隆俊理事
長、伊藤善子副理事長、伊藤
元治副理事長。

〈商店街プロフィール〉
理事長：佐藤 隆俊氏
(株奥江呉服店 代表取締役)
設立：1947年1月
住所：仙台市若林区荒町215
TEL：022-222-8710

隔月で市内商店街(会)の取り組みや魅力を紹介する当コーナーの第4回目は、本年度、長年にわたり理事長を務めた佐藤光政氏からまとめ役を引き継いだ荒町商店街振興組合の佐藤隆俊理事長からお話をうかがいました。

約400年の長い歴史が息づく街

当商店街は仙台駅から南へ徒歩20分ほどの場所に位置する商店街です。荒町は、もともと伊達家とともに、米沢から岩出山を経て仙台に移ってきた六つの御譜代町の一つで、400年近い歴史があります。実は、仙台開府当初は、現在の南町通から東北大学金属研究所に至る南北の道すがらにありましたが、政宗の若林城築城に伴い、寛永4〜5年(1627〜28年)ごろに現在地に移動されました。江戸時代に仙台藩から麴の専売権を得て発展した街としても知られ



8月1日、2日に開催された毘沙門天王祭の様子。みこし担ぎや個性あふれる出店は、今年も多くの人でにぎわいを見せた。

ています。

当商店街のメンバーには、長い歴史を持つお店や新たに开店したお店など、幅広い業種の方に所属いただいています。しかし近年、商店街メンバーの高齢化も相まって、地域シンボルでもある「毘沙門天王」の祭りや七夕まつりなど、多くの催しが開催される時期は、十分な人員を確保することが難しくなってきました。そのため、当商店街のエリアや近隣に学校や児童館、市民センターなどのさまざまな年代の方が集う場所が多くある点を生かして、荒町商店街青年部を設立させた『荒町サポーターズクラブ』を設立しました。現在、地域住民の方々をはじめ多くの皆さんにご加入いただきながら、世代の垣根を越えて魅力のあるまちづくりに取り組んでいます。改めて、地域一丸となつてこそ、街の魅力は深まっていくものだと思っています。

歴史を生かした荒町の新名物「回文団扇」

活動をしていく中で、近隣の学生と交流を持つ機会がありました。そこで「入りたいと思うような店はないかな」と聞いた際に、当商店街にはないようなお店を多く挙げていました。「これでは、この地域から足が遠のいてしまう」と思い、活性化のために何かできないかと考えた

ときに着想したのが、幕末に荒町で販売していた「回文団扇」の復活でした。

実は荒町には、麴屋の夏の閑散期の副業として、うちわを製造していた歴史があります。柿渋を塗った丈夫なうちわは、耐水性や虫よけ効果などから、日用品としても重宝されていました。特に、荒町で麴店を営み、後に幕末の奇才と称される回文師「仙代庵(細屋勘左衛門)」のユーモアあふれる回文を乗せた回文団扇は、人気を博していたそうです。昨年12月の企画立案から多くの方々にご協力いただき、今年7月より販売を開始したところです。

皆さんと協力し復活できたこのうちわは、あおいで良し、飾って良し、土産に良しと、早くも古くて新しい荒町名物となつていきます。日常使いや荒町を訪れた際のお土産品として、幅広い世代の方々楽しんでいただけたらうれしいですね。

100年後もにぎわう街を目指して

現在、当商店街では「荒町100年プロジェクト」として、100年後もにぎわいが続くまちづくりを目指しています。私たちは、これまで小さいながらも自らインフラをつくっていかうと積極的に街づくりに励んできました。今日までも、地域の歩道整備や、街灯設置の検討など、そのたびに商店街のメンバーで話し合いなが



回文団扇は丸型、角型の2種類があり、当商店街の8店舗でのみ販売。将来的には制作会社から技術を継承し、荒町での回文団扇づくり完全復活を目指している。

ら、より良い地域を目指して、共に育ってきた歴史があります。だからこそ、商店街のメンバーは皆、少しのことでは折れない強い絆を持っています。これからも、地域住民の方々との協力しながら、100年後も街が残り、新しいことに取り組みながら、にぎわい続ける荒町商店街を目指していきますので、私たちの誇りである荒町商店街に、ぜひ一度足を運んでみてください。

年間の主な催し・イベント

- どんと祭(1月開催)
- 荒町小学校・絵のある街(2月開催)
- ハンドメイド市(春〜秋開催)
- 毘沙門天王祭(8月1日、2日開催)
- 荒町七夕まつり(8月6〜8日開催)
- 荒町ハロウィーン(10月開催)
- 荒町冬のイルミネーション(12月開催)
- アラマチマン毘沙イベント(通年開催)



HP: <https://www.aramachi.net/>